

報告事項キ

生涯学習フェスティバルとっとり2007 in西部の実施結果について

生涯学習フェスティバルとっとり2007 in西部の実施結果について、別紙のとおり報告します。

平成19年11月8日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

「生涯学習フェスティバルとっとり2007 in西部」の実施結果について

家庭・地域教育課
西部教育局

1 趣旨

第17回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア鳥取2005」の成果を一過性のものとせず、今後とも全県的に生涯学習を基盤とした「人づくり」「地域づくり」が根付き、より盛んにするために「生涯学習フェスティバルとっとり」を開催した。

2 概要

(1) 開催期間 平成19年10月6日(土)
～10月8日(月・祝) 3日間

(2) 会場 米子市文化ホール及び屋外広場



3 イベントの概要

(1) 記念講演：10月6日(土) 午後1時30分～3時15分(メインホール)

○講師…三屋 裕子さん(スポーツプロデューサー)

○演題…生涯学習とスポーツのすすめ

○内容…自身の経験を踏まえ、スポーツを通じた生涯学習についてわかりやすくお話しいただいた。(とっとり県民カレッジ主催講座)

○参加者…とっとり県民カレッジ入学者、一般県民等

(2) 生涯学習シンポジウム：10月7日(日) 午後2時～3時30分(屋外ステージ)

○テーマ…放っておいても子どもは育たない

○シンポジスト…大畑 伸幸さん(ネイチャーキッズ寺子屋代表：島根県益田市)

美田耕一郎さん(鳥取県子ども会育成連絡協議会副会長)

安川 敦子さん(鳥取県南部町教育委員)

○コーディネーター…高岡 信也さん(島根大学教育学部長)

○内容…家庭や地域の教育力低下が叫ばれる中、地域の大人達の子どもの関わり方についてそれぞれの経験を踏まえて意見交換を行っていただいた。

○参加者：青少年育成関係者、一般県民等

(3) ステージ・舞台発表：フェスティバル期間中(メインホール及び屋外ステージ)

○出演…子どもたちから高齢者まで[55団体、899人]

○内容…郷土芸能、音楽演奏、ダンス、寸劇、合唱など



(4) 作品展示：フェスティバル期間中(展示室ほか)

○出展…公民館サークルなど[31団体、405作品]

○内容…手芸、陶芸、版画など

(5) 体験コーナー：フェスティバル期間中(オープンスペースほか)

○出展…社会教育団体、県立施設など[21団体]

○内容…手芸クラフト、太極拳体験、水鉄砲遊びなど

(6) 特産品販売コーナー：フェスティバル期間中(屋外広場)

○出店…市町村、サークルなど[15団体]

○内容…おこわ、加工品、
工芸品など



4 参加者数 延べ3,200人(3日間合計)

5 今回のフェスティバルの特徴

(1) 地元学校の生徒の活躍

- ・ 境港総合技術高校の生徒が連日ボランティアとして参加し、フェスティバルの運営をサポート
- ・ 米子高校の生徒が会場内の案内看板を制作
- ・ 米子松蔭高校、米子高校、溝口中学、岸本中学、明倫小、箕蚊屋中、大山小、米沢小の生徒が野外ステージで発表



(2) 市町村社会教育担当職員の団結

- ・ 西部地区一円の市町村社会教育担当者、公民館職員及びそのOB等が一丸となってフェスティバルを運営し、日頃の広域的なネットワークの成果を活かした取組を行った。

(3) 米子市公民館祭、とっとり県民カレッジ主催事業との連携

- ・ 開催期間を1日延長し、米子市の公民館祭りと併催することにより、集客効果を高めた。
- ・ 記念講演について、既存事業の「とっとり県民カレッジ」と連携し、県民向けの公開講座として開催し、事務的負担の軽減と集客力の確保を図った。

(4) 債務負担行為の設定による前年度からの準備着手

県負担金について債務負担行為を設定し、前年度中に準備に着手できる体制を確保したことにより、実行委員会の設立、事業検討及び準備に十分な時間を確保することができた。

〈来場者アンケート結果〉 回収数：371件

